

最新鋭の機能を搭載した「胃・胸部デジタルX線検診車」を配備しました

この度、公益財団法人予防医学事業中央会が一般財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて整備した胃・胸部デジタルX線検診車（以下「宝くじ号」）が、予防医学事業中央会茨城県支部(公益財団法人茨城県総合健診協会)に配車されました。



胸部X線撮影室



胃部X線撮影室

○ 受診時の利便性、受診環境が向上

この宝くじ号には、**県内初**となる「胃部X線検査支援システム」が導入されており、モニター越しにイラストや多言語（7か国8言語＋手話）で検査の受け方を分かりやすく伝えてくれるため、耳の聞こえづらい方、日本語が苦手な外国人の方にも安心して受診していただくことができます。

また、車内に大容量バッテリーを搭載し、X線撮影装置などの稼働に必要な電力は、全てこのバッテリーから供給されるため、騒音や振動、排出ガスが発生しない静かでクリーンな環境で検査を受けていただけます。



検診の受け方をイラストや手話等で分かりやすくお伝え

○ 検診の受診効率アップ

さらに、宝くじ号は胃・胸部の併用型であるため、通常では胃部、胸部で検診車2台の配車が必要となるところ、1台で賄うことができ、これまで会場が狭く胃・胸部検診の同時実施ができなかった会場にも配車が可能となるので、受診効率が高まります。

○ 納車式・配車式を執り行いました

令和6年5月15日（水）15時半から、当協会の敷地内で宝くじ号の修祓式（車祓い）、納車式・配車式を執り行いました。

【出席者（順不同・敬称略）】

- 公益財団法人 予防医学事業中央会
- 予防医学事業中央会 茨城県支部
- 富士フイルムヘルスケア株式会社（検診車製作代表企業）
- 株式会社イズミ車体製作所（検診車製作企業）

【修祓式（車祓い）】

水戸八幡宮の神主を招いて挙行いたしました。



【納車式】

検診車製作企業代表者から公益財団法人予防医学事業中央会 櫻林理事長に、検診車の鍵（レプリカキー）が手渡されました。



【配車式】

公益財団法人予防医学事業中央会 櫻林理事長から当支部 永田会長に、宝くじ号の目録の授与並びに鍵（レプリカキー）が手渡されました。



公益財団法人予防医学事業中央会 櫻林理事長のご挨拶



当支部 永田会長のご挨拶



【記念写真】



当支部では、配車いただいた宝くじ号を活用し、県民の皆様の健康増進に寄与すべく、より一層の努力を重ねてまいります。